

| | | |
|----------------|----------|----------------|
| 「ダイビング」 | 単 位 数 | 2 単 位 |
| | 学科・学年・学級 | 海洋科学科 第2学年 A2組 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | ダイビングに関する基礎的な知識と技術を習得させ、水産や海洋の各分野に活用する能力と態度を育てる。 |
| 使用教科書・副教材等 | 潜水士テキスト、 |

2 評価の観点、内容及び評価方法

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|-----------|---|---|
| 関心・意欲・態度 | ダイビングについて関心を持ち、その知識・技術の習得に意欲的に取り組み、安全潜水について考える態度を身につけようとしている。 | ・講義、実習への参加状況及び態度 ・講義の中で使用する資料の利用状況 ・ノート |
| 思考・判断・表現 | ダイビングについて自ら思考を深め、その問題の解決に向け、適切に判断し、創造工夫する能力を身につけている。 | ・定期考査 ・質問に対する回答 ・ノート |
| 技 能 | 水中環境を理解し、実践で安全潜水ができ、3年次の海洋実習ができるよう技術の向上を図る。 | ・定期考査 ・ノート |
| 知 識 ・ 理 解 | ダイビングに関する知識を身に付けている。 | ・定期考査 ・小テスト |

3 評価

| |
|---|
| <p>単位の修得認定については以下のとおりとする</p> <p>1 中間考査については、テストの素点とする。</p> <p>2 学期末成績については、テストを50%、実技点（下記①～④）50%の配分で、総合的に評価する。</p> <p>3 学年末の評価については、1，2学期の成績を総合評価する。（3学期乗船のため）</p> <p>①出席が年間授業時数の2/3以上あること。遅刻や早退がないこと・</p> <p>②毎時間の授業に目標を持って意欲的に取り組むこと。（授業中の居眠りは欠課とする。）</p> <p>③提出物（授業プリント、課題プリント、その他指示されたもの等）を期限までに自分で仕上げ提出すること。</p> <p>以上の①～③が全て認められなければ、試験の点数の善し悪しに関わらず単位の修得は認定できない。</p> |
|---|

4 学習計画及び評価方法等

| 学 期 | 学 習 内 容 | 月 | 学 習 の ね ら い | 備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など) | 考 査 範 囲 |
|------|-------------------------|---|---|---|---------|
| 第1学期 | ダイビング講義 スキンドайビング実技① | 4 | 国家試験（潜水士）合格を目指して週1時間は、下記試験科目について学習する。 ①潜水業務 ②送気、潜降および浮上 ③高気圧障害 ④関係法令 呼吸慣れ、フィンキック等の技術を習得する。 | | 1学期期末考 |
| 期 | スキンドайビング実技② | 5 | 立ち泳ぎ（10分）、平行潜水（25m）、垂直潜降（5m、ヘッドファースト）等の技 | | |

| | | | | | |
|--|---|-------------------|---|---|---------|
| 第1学期 | スキンドайビング実技③ | 6 | 術を習得する。 ウエイト脱着（水面・水中）、マスククリア・マスク脱着 | <ul style="list-style-type: none"> 総合実習と連動し、沖縄での海洋実習を実施。 海洋行事と連動して展開する。 | 査 |
| | | 7 | <ul style="list-style-type: none"> 水泳能力の向上 クロール400m以上泳げるようになる。 | | |
| 期 | 【課題・提出物等】 授業の中で使用したプリントおよびノートを提出する。 | | | | |
| | 【第1学期の評価方法】 1 期末の定期考査の成績、プリントなどの提出物、ノートの内容、学習活動の意欲・姿勢（自己評価を含む）、実技の技術修得度等で評価する。 2 定期考査の内容50%、実技の技術修得度を50%（内10%は自己評価）ととし総合的に評価を行う。 | | | | |
| 第3学期 | スキンドайビング実技④ | 7 | スキンドайビング①～③の復習 泳力の再確認 | | 2学期期末考査 |
| | スクーバダイビング実技① | 12 1 2 3 | 毎週1時間、潜水者の健康管理について学習する。 ①健康診断・管理 ②救急処置 設備・器具の取り扱い、セッティング 点検・整備の方法等について習得する。 | | |
| 期 | 【課題・提出物等】 授業の中で使用したプリントおよびノートを提出する。 | | | | |
| | 【第2学期の評価方法】 1 期末の定期考査の成績、プリントなどの提出物、ノートの内容、学習活動の意欲・姿勢（自己評価を含む）、実技の技術修得度等で評価する。 2 定期考査の内容50%、実技の技術修得度を50%（内10%は自己評価）ととし総合的に評価を行う。 | | | | |
| 第2学期 | 乗船中 | | | | |
| | 【課題・提出物等】 | | | | |
| 【第学期の評価方法】 | | | | | |
| 【年間の学習状況の評価方法】 「ダイビング」の総合評価は、各学期の評価を総合し行う。出席については、内規どおり。 | | | | | |

5 担当者からのメッセージ

- ・2年次では、安全ダイビングに欠かせない泳力を中心としたスキンドайビング中心の実習となるため日頃から体力作りに努めてもらいたい。
- ・体力的かつ精神的に厳しい内容もあるが、仲間とともに立ち向かって欲しい。
- ・プールメインの授業となるが、飽きずに興味を持って取り組んで欲しい。
- ・座学の時間が少ないが、3年次での潜水士合格を目標にしっかり学んで欲しい。